

# 国内研修成果報告書

山形県山形市～山形県コロニー協会～  
2022年9月15～16日

## 概要

私は国内研修制度を利用して、9月15日、16日に山形県の山形市に赴き山形県コロニー協会にて研修を行った。山形県コロニー協会は山形駅から20分ほどバスに乗って訪れることができ、目の前に川が流れているなど自然豊かな所にある。山形県コロニー協会は、就労継続支援事業A型、B型、等の支援事業のみならず児童相談所や実習生の受け入れなど幅広く行っており、今回の研修では実際に作業をされている方の見学や、代表の方、スタッフの方々と意見交換を行った。我々はその中で昆虫食の新規事業提案を行った。本報告書では見学の概要と企画提案について記載したいと思う。

## 見学内容

### 放課後等デイサービス事業 山形コロニーシード

この施設は主に療育的活動やサポートが必要な中高生が対象の施設である。内容としては放課後等に仲間と共にソーシャルスキル学習や生活力向上を図る活動を行っている。ここで理事の鈴木様が仰っていたのが、子供が良い環境下で育たないと上手く成長することができない。しかし親が子供の教育の仕方をわかっていなかったり、親自身の時間が欲しくて子供に時間をかけることができなかつたりする。本当に必要なのは親も教育について学ばないといけないし、ある程度子供が大きくなってしまえば自分の行動や考えの型ができてしまい改善することが難しい。そこで最も必要なことが子供のうちに正しく教育を行うことで将来福祉を減らすことが重要である。私は今まで子供や親に対して今後どんどん支援を拡充していくことが重要だと思っていたが、将来支援を狭めていくという考え方は極めて新しい発見であり、素晴らしい考え方だと感じた。

### 就労継続支援事業B型 山形県コロニーセンター

この施設は元々入所型の身体障害者授産施設として設立されたものが移転を行い、事業内容も入所型から就労継続型支援事業B型事業所に移行したものである。作業訓練内容は、ベーカリー、プロダクト、リサイクル、ファームの4つの部署から構成されているもので、利用者はここから障がいや希望を考慮して選択してもらう。私が実際に見学したのは自動車用の部品を作られている所と、パソコンでデータの入力をしている所だ。そこで感じたのが、この施設を利用されている方々は伸び伸びと仕事に取り組まれているということである。雰囲気としても嫌々仕事をされている方は少なく、自分の仕事に誇りを持って取り組まれている方が多い印象を受けた。私は現在大学3年生で自分が将来どの業界や働き方をするのかを決めかねている。この施設では多種多様な業務内容があり自分の適性がある仕事についてとことん経験し働くイメージを鮮明に持つことが可能になる。就職活動におけるインターンよりもより実践に近い形で「働くこと」について経験できるので素晴らしいシス

テムだと思うと同時に羨ましく感じた。

#### 就労継続支援事業 A 型（雇用型）山形福祉工場（コロニー印刷）

この施設は利用者と事業主と雇用契約を結び、希望をもとに地域生活のための支援や一般就労支援を受け取ることができるものである。印刷事業を行っており編集から製本まで一貫した取り組みをおこなっている。福祉作業所としては日本一の規模を持っており工場からもその壮大さを感じる事ができた。実際に見学を通して感じたことはかなり分業化が行われており、システムチックに利用者の方々が働かされていたということである。またこのように分業化ができていくという所でロスやミスを発見しやすく、効率的に事業に取り組まれているということがわかる。しかし、鈴木様が仰っていたのが、分業をしすぎてしまい作業内容が固定化され過ぎてしまっているという課題がある。つまり現状維持を行うことはできるが新規取り組みなど業務改革を行っていくのが難しい現状がある。今後デジタル化が進み紙の印刷の需要が少なくなっていく中でどのように事業を拡大していくのが課題である。

#### 昆虫食の事業提案

我々は昆虫食を補助食材としてカテゴライズすることをテーマに山形県コロニー教会様に事業提案を行った。この提案に行き着く過程で私は二つの驚きを経験している。一つ目が昆虫食の美味しさである。私は友人に誘われて昆虫食というものに初めて触れた。初めは見た目の気持ち悪さや元々の嫌悪感から食べるだけでなく、触れることですら躊躇していた。しかし初めてコオロギのお菓子を食べた時に私は驚愕した。まるでスナック菓子のようなサクサク感や見た目の悪さを無くすために触覚や手足が取り除かれており、まるで柿の種のような食べ物だった。そして二つ目に栄養価の高さが挙げられる。例えばコオロギは豊富なタンパク質だけでなく、鉄分や食物繊維までも含んでいる。それだけでなく、生産する時に牛や豚よりもタンパク質排出量が少なく、環境負荷の低い食物源なのである。そのような魅力溢れた食糧を広めていきたいと思い今回の研修に参加した。

#### 提案内容

我々は主に以下の二点を提案した。

#### フルーツグラノーラ/プロテインバー

ご周知の通り、山形県は果物の収穫量で国内上位を誇る。そのような山形県は果物の廃棄量も国内有数なのをご存じだろうか。味は同じものでも形が歪であったり、重さが足りない、少し傷があるということがあると、出荷することができないのだ。多少は近所にお裾分けすることはできるが、やはりそれも限度があり多くの果物は廃棄されてしまう。我々はこの果

物に目を向け、ドライフルーツのように加工をすることで少しでも廃棄される果物を減らそうと考えたのである。

### 将棋×昆虫食

山形県天童市は果物だけでなく、将棋の街としても有名である。そこで我々は将棋と組み合わせることでお土産としても販売できる昆虫食を考えた。これは単なる昆虫食を作るだけでなく、天童市の名産品と組み合わせることで地域としての付加価値が付き、地域活性化にも繋がると考えた。また将棋に関わることで昆虫食に対する嫌悪感というものも無くなるかもしれないという期待も込めている。

### 研修成果と感想

今回研修をさせていただいた山形県コロニー様に果物を乾燥させる機械があったのでそれを活用して試作品を作っていくことや、昆虫の形そのものは難しくてもパウダーのようなもので調味料と混ぜ合わせる形で事業提案は終わっている。その理由として現時点では昆虫に対する民衆の嫌悪感は拭いきれないものがあり、その壁を壊すのは非常に難しいということであった。しかし昆虫食に対しては可能性を感じておりかなり前向きに考えるということであった。

今回研修を行い、福祉施設の重要性を再度理解した。特に福祉を必要とする前に正しい教育を行い福祉の需要を減らすという言葉は特に印象に残った。私が現代福祉学部で保障の拡充などを学んできたが、保障を減らすためにはどのような事が求められるかということは一度も考えたことが無かった。このように利用者を減らしていくことが一人ひとりに対する保障の充実度を上げることができるのだろう。

また初めて自分達で考えた企画をよその人に提案するというところを行って、かなり勉強になった。まず今まで勉強してきたことを上手く形にすることができ、それをうまくアウトプットすることができ、自分達自身も昆虫食というものに対して理解を深めることができた。また第三者の意見をいただくことで昆虫食が世間でどのように見られているのかが具体的に理解することができた。このような機会を提供していただいた山形県コロニー様本当にありがとうございました。今回の経験は人生において貴重な経験であり、この思い出は一生の宝物にしたいと思う。